

# 成田市議会だより



成田市観光  
キャラクター うなりくん

## 平成24年 6月定例会

### 主な内容

常任委員会 .....	3
議案と審議結果一覧 .....	5
特別委員会 .....	6
一般質問 .....	8
全国市議会議長会表彰 .....	14
コーヒータイトム .....	14



### 成田ソラあんぱんデビュー！

「地元の特産品とコラボしたスイーツを作って成田をもっと元気にしたい」という  
想いがぎゅっと詰まった「成田ソラあんぱん」。

7月1日、発売開始記念イベントが開催されました。(まちかどふれあい館)

6月

定例会の  
あらまし

# 27議案を可決・同意・承認

## 暴力団排除条例制定や 企業誘致条例の一部改正など

平成24年6月定例会は、6月1日に招集され21日まで21日間の会期で開かれました。定例会の初日には、24議案が上程されました。

一般質問は、5日から4日間、18人の議員が登壇して行われ、8日には議案1件を同意しました。11日からは各常任委員会、特別委員会が開かれました。

最終日には、議案23件と追加議案1件及び発議案2件を原案どおり可決・同意・承認し、また、請願2件を採択し、閉会しました。

### 6月定例会の日程

月 日	内 容
6月 1日(金)	本会議 (開会、会期の決定、全議案一括上程)
5日(火)	本会議 (一般質問)
6日(水)	本会議 (一般質問)
7日(木)	本会議 (一般質問)
8日(金)	本会議 (一般質問、議案質疑、議案審議、委員会付託)
11日(月)	経済環境常任委員会
12日(火)	建設水道常任委員会、教育民生常任委員会
13日(水)	医療問題特別委員会
14日(木)	地域防災特別委員会、空港対策特別委員会
15日(金)	総務常任委員会
21日(木)	本会議 (会議録署名議員指名、議案・請願審議、閉会)

# 常任委員会

本会議で委員会に付託された主な議案と  
審査内容の概要を紹介します。

※議案件名など一部省略しています。

## 総務 常任委員会

議案10件をいずれも可決・承認しました。  
所管事務について3件の報告を受けました。

### ▼市有財産の取得（消防救急デジタル無線装置）

[内 容] 消防救急無線のデジタル化に伴い、千葉県内すべての消防本部が共同で消防救急無線網を構築することに関連して、成田市が単独で整備しなければならない卓上型固定移動局無線装置など計98点を購入するもの。

### ▼平成24年度成田市一般会計補正予算（第1号）

[内 容] コンプライアンス条例の施行に伴う審査会委員の報酬や公益通報<sup>注1</sup>窓口業務の委託等、コミュニティバスの増車、また、東日本大震災復興基金への積み立てを行うにあたり、歳入歳出それぞれ5,026万8千円の増額補正を行うもの。

[主な質疑] **問** 東日本大震災復興基金の具体的な用途は。

**答** 対象事業は復興に向けて新たに行うソフト事業であり、地域防災力の向上、地域経済の振興策、観光PRに係る事業などに活用していきたい。

<sup>注1</sup> 職員等の法令違反行為等について、通報すること。

## 教育民生 常任委員会

議案11件をいずれも可決し、  
請願2件を採択しました。  
所管事務について5件の報告を受けました。

### ▼住民基本台帳法の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例制定

[内 容] 現行の外国人登録法が廃止されるとともに、外国人住民も日本人と同様に住民基本台帳法の適用を受けることになることから、関係条例を一括して改正するもの。

### ▼成田市暴力団排除条例制定

[内 容] 暴力団の排除に関して基本理念を定めるとともに、市、市民及び事業者の責務を明らかにし、その他の関係機関・団体と連携して、市民の平穏な生活及び事業活動の健全な発展のため、暴力団の排除を社会全体で推進しようとするもの。

### ▼市有財産の取得（厨房機器等）

[内 容] 平成25年4月開校予定の公津の杜中学校の学校給食共同調理場を整備することに伴い、厨房機器及び備品を購入するもの。

[主な質疑] **問** 親子方式<sup>注2</sup>の第1号となるが、給食センターとの違いは。

**答** 自動炊飯システムで自炊をすることと、作業区域の仕切り部分にパススルー冷蔵庫を配置し、温度管理等衛生面に十分配慮しているところである。

<sup>注2</sup> 親となる学校で調理した給食を近隣の子となる学校へ配送する方式。



## 経済環境 常任委員会

議案1件を可決しました。  
所管事務について9件の報告を受けました。



▲更なる企業進出が望まれる成田新産業パーク（大栄物流団地）

### ▼成田市企業誘致条例の一部改正

【内 容】 企業の誘致による産業の振興及び雇用の創出を図るため、新たに成田市内に本社を設置し、市民を雇用する事業者に対して、雇用型の奨励措置を設けるとともに、現行の投資型の奨励措置を拡充することにより、既存の工業団地内の遊休地への企業進出を促進するため所要の改正を行うもの。

【主な質疑】 問 千葉県の改正で拡大の対応がされた中で、成田市ではどのように変更されたのか。

答 県は条件を200人以上としているが、成田市では常用雇用者100人以上を雇用し、市内に本社を新たに設置する場合を対象としている。

### ▼J R成田駅東口再開発ビルA棟建設工事 請負契約の締結

【内 容】 J R成田駅東口第二種市街地再開発事業で予定されている再開発ビル2棟のうちA棟の建設工事請負契約を締結するもの。

【主な質疑】 問 約58億8千万円という大きな契約が随意契約となっていることについてどう思っているか。

答 特定業務代行者<sup>注3</sup>は提案競技により選定されたものであり、地方自治法施行令に基づき随意契約としたものである。

<sup>注3</sup> 再開発ビルの建設工事を行うとともに、保留床処分についても責任を負う企業。

## 建設水道 常任委員会

議案1件を可決しました。  
所管事務について1件の報告を受けました。



## 国に意見書を提出

6月定例会では、議員から提出された議案（発議案）が可決され、国及び関係行政機関に意見書が提出されました。提出された意見書は下記のとおりです。

- 義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書
- 国における平成25年度教育予算拡充に関する意見書





# 議案と審議結果一覧

議案番号	件名 <small>※件名は一部省略しています</small>	議決結果	友友クラブ										豪政会			リベラル成田			公明党		共産党		市工											
			神岡 勝	福島 浩一	伊橋 利保	雨宮 真吾	佐久間 一彦	湯浅 雅明	小澤 孝一	秋山 忍	荒木 博	神岡 利一	村嶋 照等	石渡 孝春	平良 清忠	宇都宮 高明	海保 貞夫	飯島 照明	小山 昭	上田 信博	青野 勝行	伊藤 昌一	海保 茂喜	伊藤 竹夫	油田 清	一山 貴志	水上 幸彦	大高 重雄	鷓澤 治	馬込 勝末	足立 清智子	會津 素子		
◆議案																																		
1	監査委員の選任（三浦 弘）	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
2	非常勤特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
3	成田市予算の執行に関する市長の調査等の対象となる法人を定める条例制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
4	成田市東日本大震災復興基金の設置、管理及び処分に関する条例制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
5	成田市税賦課徴収条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
6	住民基本台帳法の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
7	成田市重度心身障害者の医療費助成に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
8	成田市子ども発達支援センターの設置及び管理に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
9	成田市難病患者等ホームヘルパー派遣事業に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
10	成田市そのみの園の設置及び管理に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	
11	成田市あじさい工房の設置及び管理に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	
12	成田市国民健康保険条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
13	成田市印鑑条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	成田市暴力団排除条例制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
15	成田市集会施設等の設置及び管理に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16	成田市企業誘致条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
17	専決処分の承認（成田市税賦課徴収条例の一部改正＝専決第4号）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	
18	専決処分の承認（成田市都市計画税条例の一部改正＝専決第5号）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	
19	JR成田駅東口再開発ビルA棟建設工事請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	
20	市有財産の取得（厨房機器等）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21	市有財産の取得（消防ポンプ自動車 CD-I 型）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
22	市有財産の取得（消防指揮隊車）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

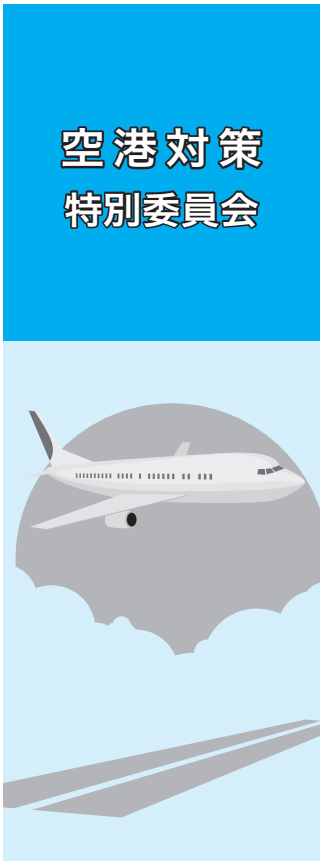


議 案 番 号	議 件 名	議 決 結 果	政友クラブ										豪政会			リベラル成田			公明党		共産党		市 工																			
			神 岡 勝	福 島 浩一	伊 橋 利保	雨 宮 真吾	佐 久 間一彦	湯 浅 雅明	小 澤 孝一	秋 山 忍	荒 木 博	神 崎 利一	村 崎 照等	石 渡 孝春	平 良 清忠	宇 都 宮高明	海 保 貞夫	飯 島 照明	小 山 昭	上 田 信博	青 野 勝行	伊 藤 昌一	海 保 茂喜	伊 藤 竹夫	油 田 清	一 山 貴志	水 上 幸彦	大 倉 重雄	鶴 澤 治	馬 込 勝未	足 立 清智子	會 津 素子										
23	市有財産の取得（消防救急デジタル無線装置）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
24	平成24年度成田市一般会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
25	副市長の選任（藤田 礼子）	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
◆ 発議案																																										
1	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
2	国における平成25年度教育予算拡充に関する意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
◆ 請 願																																										
2	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
3	「国における平成25（2013）年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ ○=賛成、×=反対 欠=欠席  
 ※ 議長（宇都宮 高明）は採決に加わりません。  
 ※ 会派等の名称の略は次のとおり 共産党=日本共産党、市=無所属市民の会、工=エコピースの会

# 特別委員会

委員会では報告された内容の一部を要約して紹介します。



## 空港対策 特別委員会

### ●成田空港の北側進入時における落下物対策

平成23年4月に荒海地区で発生した落下物事案を受け、国土交通省では、諸外国の事例の調査や航空機メーカー・航空会社へのヒアリング等を行い、その調査結果を踏まえ、成田空港の北側進入時における落下物対策として、

- ①エアラインにおける点検・整備の徹底－チェックリストをもとに落下物を念頭に置いた点検・整備を再度徹底する。
- ②落下物対策に関するエアライン・国の連絡体制の整備－エアラインと空港事務所の定期会議で議題として取り上げ、情報の共有、意識の向上を図る。
- ③脚下げの位置に関する指導－飛行コースに住宅等が多い地域を避けて脚下げを行うよう指導する。

これら3つの対策を速やかに実施し、その効果も含めて引き続き検証を行っていくとのことでした。

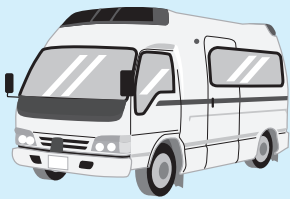
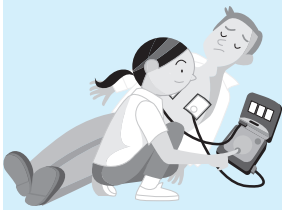
### ●LCC<sup>注4</sup>専用ターミナル整備計画

成田国際空港株式会社より報告があり、当面は、国際線は第2旅客ターミナルビル、国内線も同ターミナルビル南北に新たに整備する暫定国内線施設で受け入れる予定であり、今後、同ターミナルビル北側地区を候補地として、2014年度中の完成を目指し、LCC専用ターミナルを整備するとのことでした。

<sup>注4</sup> ローコストキャリア(Low Cost Carrier)の略称で、効率的な運営により低価格の運賃で運航サービスを提供する航空会社。



## 医療問題 特別委員会



### ●平成23年度成田赤十字病院市町村別救急患者取扱状況

成田市の救急患者数は9,612人で、前年よりも月平均で14人増加しており、全体に占める成田市の利用率は40.3%とのことでした。

【主な質疑】 **問** 前年と比べ救急患者数が増加しているが要因は。

**答** 入院率は増えていることから、本来、成田赤十字病院で対応する、より重症な患者が増えていると考えている。

### ●成田市における医療の現状と課題

成田市医師団より報告があり、成田市の医療の現状は、地域の中で完結できる循環型医療体制にあって、成田赤十字病院を頂点に二次救急病院、開業医、夜間急病診療所等があり、過不足の無い状態であり、基本的には機能しているとのことでした。

今後の成田市の医療については、在宅医療と後方医療施設<sup>注)5</sup>が重要であり、在宅患者に対する医師・看護師の派遣や、何かあった際に収容できる後方医療施設を準備していく必要があるとのことでした。

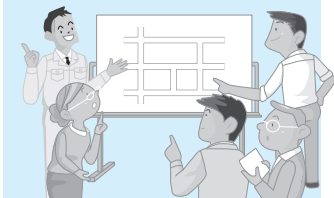
また、独居高齢者や老老介護の問題、特に二次救急病院である成田病院に見られる看護師不足解消は喫緊の課題として考えていかなければならないとのことでした。

【主な質疑】 **問** 医療を支えるためのルールづくり、条例化を行う必要があると考えるが、見解は。

**答** 条例化やその他の直接的な結びつきをつけて、成田市の医療を確立することは大いにしていきたい。

注)5 重症者を収容して治療を行う医療施設。

## 地域防災 特別委員会



### ●東日本大震災総括報告

地域防災計画の見直しにあたって、今震災の対応について検証作業を行い課題の取りまとめを行ったとのことでした。

- ・災害対策本部における実施体制については、応援体制が不十分であったこと、情報の集約・共有化が不十分であった。
- ・情報収集については、発災後の通信規制による避難所等との連絡に支障があったこと、ライフライン事業者等との情報共有・連携が不十分であった。
- ・情報伝達については、防災行政無線が聞き取りにくいことや、防災メールに遅れが生じた。
- ・住民避難については、避難所に迅速な市職員の配置ができず、また、学校が閉鎖している時間帯の避難所開設に時間を要することが想定される。
- ・帰宅困難者の対応については、より多くの帰宅困難者が発生した場合に、施設の確保に時間を要することが想定される。
- ・原子力発電所事故の対応については、情報収集・提供にあたり実施体制の構築が不十分であった。

今後のスケジュールとしては、まずは課題を踏まえた防災施策の基本方針を策定し、順次、計画の見直し作業を進めていくとのことでした。

【主な質疑】 **問** 本部と避難所の連絡に支障をきたしたとのことだが改善策は。

**答** 今年度、各避難所に簡易型デジタル無線機を配置して連絡方法の確立を図っていく。

# 一般質問

議員が市政の方針や考え方を市長などに聞くものです。質問と答弁の内容を要約して掲載しています。

## 1. 不審者から児童を守るために

両宮真吾 議員



**問 >>>** 年々増加している不審者への対策は、警察に頼るだけではなく、事件になる前に、成田市としても毅然とした対応・対策を講じていく必要があることは言うまでもない。登下校時の見守りは、地域のボランティアをお願いしているが、委託するなどしてさらに充実させることはできないか。また不審者情報のあった箇所に防犯カメラを設置していくことが必要だと思うが、今後設置計画を策定する考えは。

**答 >>>** 成田市での不審者情報は増加しており、登下校時の見守りは十分ではないと認識しているが、ポ

ランティアや防犯パトロール等の活動をさらに充実させ、子どもたちの安全確保に努めていく。また、防犯カメラの設置計画は、関係機関と連携を図り、不審者情報発生箇所を主体に、できるだけ早急に計画を作成し、防犯カメラの設置を進めていきたい。

### その他の質問

- ◆増加傾向にある不審者に対する市の分析と対策
- ◆通学路における安全対策
- ◆防災行政無線の定時放送における時間変更

## 2. 空港周辺開発の具体的支援策

青野勝行 議員



**問 >>>** 空港周辺開発の必要性については、成田市総合5か年計画や成田国際空港周辺土地利用ビジョンに記載されているが、詳細な計画はない。成田市では、空港周辺開発の必要性を含め、開発の位置付けを早急な重要課題としているのか。また、空港周辺開発について、東京都大田区のアジアヘッドクォーター特区<sup>注6</sup>のような具体的な支援策を講じる準備があるのか。

**答 >>>** 成田市では、都市計画法の改正に伴い、地域振興を目的とした新規開発が、空港周辺の市街化調整区域においても地区計画を定める

ことで可能となったことから、それぞれの地域にふさわしい土地利用方針の検討に着手したところである。平成24年度は、その地区計画に必要な市街化調整区域の土地利用方針と地区計画運用基準を定めていく。

### その他の質問

- ◆空港間競争における他空港との明確な差別化
- ◆空港機能強化と連動した支援計画
- ◆IR<sup>注7</sup>を含めた開発

<sup>注6</sup> 欧米・アジアのグローバル企業のアジア本社・研究開発拠点を東京に誘致するために規制を緩和した特区。  
<sup>注7</sup> カジノ施設、会議場施設、宿泊施設等が一体となっている複合的な施設。

## 3. 騒音直下住民対策

海保貞夫 議員



**問 >>>** 成田国際空港では、空港容量拡大の合意を受け、空港施設整備や国内線の拡充が図られるなど、年間発着回数30万回に向けて増便されていくことが現実的となった。最近の空港北側を利用して離着陸する航空機の飛行回数を見ると、1日当たり300回を超える日もあり、今後も発着回数が増加することにより、騒音の増加や落下物に対する不安を抱えながら生活しなければならない。そこで、成田空港30万回増便に備えて、航空機航路直下住民が、将来的にも希望することによって移転可能な「希望移転地区」の設定を強く要望するが、成田市の考えは。

**答 >>>** 移転補償制度は、著しい航空機騒音の影響を受ける地域においては、騒防法及び騒特法に基づく制度はあるが、航空機からの落下物の危険を回避するための移転補償制度は確立されていない。今後も飛行コース直下の住民が安心して住むことができるよう国や成田国際空港株式会社に対して、落下物の根絶に向けて最善の方法を検討するよう引き続き働きかけていきたい。

### その他の質問

- ◆新清掃工場付帯施設の現在の状況と完成日時

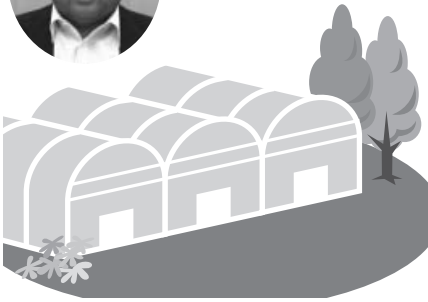




## 4. 農業用廃プラスチック回収の再開



福島浩一 議員



**問 >>>** 施設園芸に使用されている被覆用プラスチックフィルムや野菜づくりに欠かせないマルチフィルムなどの農業資材の多くは、産業廃棄物として適正な処理を行うよう農家に義務づけられている。千葉園芸プラスチック加工センターは、農業用廃プラスチックを洗浄した際に発生した土から高濃度の放射性物質が確認されたことから、回収を一時停止したが、農業用廃プラスチック回収の新しいルールへの対応は。

**答 >>>** 千葉県農業用廃プラスチック対策協議会より示された新しいルールでは、農業用廃プラスチック

に付着している放射性物質の濃度を低減するため、水洗いによる土の除去及び平成23年3月に使用されていたものが否かにより分類して搬入するなど、農業者にとって手間のかかる内容が加わっており、他の市町村などからも回収方法の簡素化を求める声が出ている。成田市としても、農業者の手間を軽減できる回収方法にするよう要望している。

### その他の質問

- ◆農地の除染策
- ◆大栄地区のイノシシ被害への対応策

## 5. 交通弱者に対する市の対応



水上幸彦 議員



▲オンデマンド交通の乗合型タクシー

**問 >>>** 現在運行しているコミュニティバス、オンデマンド型移送サービス、スクールバス、路線バスへの運行助成、他に委託によるバス運行、借上げによるバスの運行などについて交通弱者への対策という観点から伺う。利便性向上と経費節減を考慮した、全体的な交通体系の見直しの検討はどのように進められているのか。

**答 >>>** 現在、交通弱者対策は各課において対応しているのが現状である。交通体系全体については、成田市の対策として精査することが必要であり、8月中にも予定されてい

るオンデマンド交通<sup>注8</sup>の実証実験の結果報告の中で、市全域の交通体系再構築に向けた課題が示されるものと考えている。また、庁内で検討委員会を立ち上げ、実証実験の結果を踏まえた総合的な検討の中で、利便性の高い、効率のよい交通体系の形成について研究していく。

### その他の質問

- ◆新しいごみ収集の考え方と資源ごみの取り扱い
- ◆放射能による環境汚染から市民の安全を守る考え方と対応
- ◆3種ワクチンなどの接種状況と市の取り組み

注8 家から歩いていける範囲に乗降場を設けた乗合型のタクシー運行。

## 6. 高齢者への優遇措置



平良清忠 議員



**問 >>>** 多くの自治体では高齢者から運転免許証を返納してもらうかわりに、乗り物や買い物に特典を与えて、自主返納の機会拡大に努めている。高齢運転者が関係する交通事故が増加する中、運転に不安を感じながらも買い物や通院等に、生活手段としてやむを得ず運転する方も多い。中には、更新時に思い切って更新をしない方もいる。このような方も含め、運転免許証を返納しやすい生活環境を提供するために、成田市において、高齢者が気持ちよく免許証を返納し、なおかつ交通手段や買い物等の利便性が図れる施策が考えられないか伺う。

**答 >>>** 成田市としては、まずは運転免許証を返納された高齢者が、運転免許証にかわる公的証明書として写真つき住民基本台帳カードを申請した場合、交付手数料を無料とすることを考えている。今後も引き続きオンデマンド事業の拡大など、高齢者支援事業について検討していく。

### その他の質問

- ◆老人福祉センターの老朽化への対応策
- ◆災害時の情報伝達
- ◆太陽光発電システムへの積極的助成制度



## 7. 自宅で医療や介護を受けられる社会へ



海保茂喜 議員



**問 >>>** 医療機関の機能分化や医療と介護施設の連携は、これまでその必要性が叫ばれてきた。医療従事者・患者支援団体・学識経験者・政策立案者等のさまざまな主体が話し合いを行い、地域医療の方向性を検討しなくてはならない。成田市民に身近な窓口として、実際の現場での状況をきめ細かく把握し、市民の安全安心の確保に向けて、着実な取り組みを推進していくことが求められると考えるが見解を。

**答 >>>** 地域医療に関しては、印旛地域保健医療協議会、成田赤十字病院病診連携委員会、成田赤十字病

院連絡協議会が定期的開催され、地域の円滑な病診連携について協議されている。また成田市においても成田市医師団などで構成する成田赤十字病院運営協議会を設け、成田赤十字病院を中心とした本市の地域医療の向上について協議を行っているなど、各段階において地域医療の推進に向けた取り組みを進めている。

### その他の質問

- ◆成田空港を支える騒音地域への対策は
- ◆放射線による影響と取り組みは
- ◆J R成田駅前のマンションと公共施設の係わりは

## 8. 通学路の安全対策

神崎 勝 議員



▲歩道整備の望まれる通学路

**問 >>>** 成田市においても、平成22年度に登下校中に車との接触事故が2件あり、23年度には8件と増えている。車による事故の原因は、運転者の安全運転に対する意識の欠如によるところが大きいと思うが、道路自体の安全性の確保も大変重要である。成田市としても何らかの対策が必要であると考えますが、成田市PTA連絡協議会からの通学路及び危険箇所の整備要望に対する整備状況について伺う。

**答 >>>** 主な要望は、信号機や横断歩道の設置、歩道の設置、路面表示や看板の設置、歩道部分の除草や

樹木の剪定などである。これらの要望に対する整備状況は、本市所管の箇所については65件中40件、また関係機関である国道・県道などの道路管理者所管の箇所については22件中11件、さらに最も要望の多かった信号機や横断歩道の設置にかかわる千葉県公安委員会所管の箇所についても62件のうち10件が整備されている状況である。

### その他の質問

- ◆成田空港周辺土地利用ビジョン
- ◆さくらの山の整備
- ◆介護保険料基準額が大きく上昇した要因

## 9. 地域若者サポートステーション

大倉富重雄 議員



▲不動ヶ岡に開設された北総地域若者サポートステーション

**問 >>>** 我が国の青少年をめぐる様々な問題は深刻化し、社会的自立のおくれに対する立ち直り支援の充実強化は喫緊の課題である。平成21年には、子ども・若者育成支援推進法が成立した。子ども・若者支援協議会の中の一つに地域若者サポートステーション事業<sup>注9</sup>があり、平成18年度に全国25カ所で開始され、現在では全国115カ所で実施されており、この1カ所が新たに平成24年度成田市でスタートした。この運営は厚生労働省の委託を受けたNPO法人ワーカーズコープが行っているが、本事業と成田市とのかかわり方について、市の考えを伺う。

**答 >>>** 相談や支援を必要とする若者に広く周知し、対象者や保護者が安心してサポートステーションを利用できるよう広報啓発活動を実施する。また相談や支援プログラムを行う場所を提供し、支援対象者の状況に応じて、事業者が必要となる技術や情報を持つ関係機関との連絡調整を行い、関係14市町で連絡調整会議を開催し、事業実施者が効果的に運営できるようサポートしていく。

### その他の質問

- ◆高齢者の住宅改修・整備
- ◆空き家・空き地の適正管理
- ◆市政モニター制度の導入

<sup>注9</sup> 地域のネットワークを活用して若者の職業的自立支援を行う厚生労働省の委託事業のこと。



## 10. 成田駅周辺の諸問題

油田 清 議員



▲JR成田駅東口の違法駐輪

**問** >>> JR・京成成田駅構内のエレベーターは終電まで稼働しているが、成田市で管理している西口エレベーターは午後10時までしか利用できない。行政として「駅を中心とした地区に重点的かつ一体的なバリアフリー化」を進めなくてはならないのになぜか。またJR成田駅東口には自転車等放置禁止区域という看板があるにもかかわらず、歩道への放置自転車も目立つがその対策は。

**答** >>> エレベーターの利用時間については、午後10時から終電までの利用者数の再検証を行い、利用者の安全確保と不法行為の抑止を最優

先に考え、費用対効果も併せて検討する。違法駐輪自転車は、年2回の撤去を実施しており、また市民からの連絡などにより、随時担当職員が警告書を張り、撤去しているが、撤去後も違法駐輪が後を絶たないため、引き続き定期的な撤去を行っていく。

### その他の質問

- ◆市内でも「孤立死」が起きているが、その現状と対策
- ◆地域防災体制で行政ですべきことと基本となる地域対策の強化

## 11. 夜間騒音の移転補償を

鵜澤 治 議員



**問** >>> 開港から35年間、直下住民は夜間騒音と落下物の危険にさらされ続けている。一日も早く移転を可能とする制度改定に全力を挙げてほしい。市長が平成21年度に環境省に「夜間騒音の健康影響調査」を求め、膨大な調査報告書が提出されている。市長の調査要請には、住民の熱い思いがこめられているはずであり、ぜひ制度改定に反映させてほしい。今後の夜間騒音被害補償対策にどのような方針で臨むのか伺う。

**答** >>> 住民の体感・感覚と乖離のない適正な基準値へ早期に改正し、さらに睡眠妨害なども考慮した基準

値が加えられるよう、今後も環境省などに働きかけていきたい。現行制度における移転補償区域については、騒防法第2種区域、第3種区域並びに騒特法の航空機騒音障害防止特別地区とされていることから、これらの区域以外での移転補償については困難であると考えている。

### その他の質問

- ◆TPP<sup>注10</sup>参加で食の安全が脅かされ日本農業に致命的な打撃
- ◆新清掃50億円付帯計画を見直しで維持管理費を抑える

注10 環太平洋戦略的経済連携協定。加盟国間で取引される全品目について関税を撤廃しようという協定。

## 12. 成田空港の従業員数の減少

馬込勝未 議員



▲成田空港

**問** >>> 平成23年度の成田空港内従業員の実態調査結果では、従業員数は、20年度の調査と比べて9,715人減少し、3万8,689人であった。地域振興連絡協議会の調査では、成田空港の発着枠が30万回になれば、7万5,000人の雇用がふえるとされたが、その基礎の数字である20年度の4万8,404人が、大幅に減ってしまったため、雇用の見通しについては、修正した数字を示すべきではないかと思うが。

**答** >>> 雇用創出効果の30万回時における平成19年比較では、7万5,000人の増加となっているが、こ

れは建設投資に係る分を含めての千葉県全体に及ぼす数値であり、建設投資を除いた平年ベースでの雇用創出効果は3万2,000人の増加である。この雇用創出効果は、経済波及効果を満たすために必要な理論上の労働力であり、必ずしも実際の雇用者数の増減とは一致しない。

### その他の質問

- ◆TPPの農業への壊滅的影響
- ◆TPP参加で国民皆保険が崩される
- ◆TPP参加で建設労働者の雇用・労働条件の悪化

### 13. 防災訓練の内容



小山 昭 議員



**問 >>>** 天災は、突然やってくる。4年後あるいは7年後とも高い確率で予測されている首都圏直下型地震は、今こうしている間にも発生する危険性がゼロとは言い切れない。地震発生直後においてはライフラインの寸断、被害が広大であること等により、公助による防災活動・救助活動は、不可能であることが想定される。そこで成田市市の自主防災組織の訓練のこれまでの実績と、またその内容はどのようなものであったか。さらに、訓練は実際に参加者が救助資機材を手にして行ったものであったかを伺う。

**答 >>>** 過去5年間に初期消火訓練が34団体、給食給水訓練が28団体、負傷者の救出救護訓練と避難誘導訓練が各13団体において実施されている。また、成田市から交付している防災資機材を使用し、実際の現場を想定した訓練を13件実施している。引き続き自主防災組織の結成とあわせ、地域に密着した訓練に協力し、救出救助の資機材の使用方法や取り扱いの指導など、地域のニーズに応じた訓練の支援を実施したい。

その他の質問

◆被災地との緊急連絡体制

### 14. (仮称)成田市男女共同参画センターの設置



足立満智子 議員



▲男女共同参画セミナーで紹介された男女共同参画推進員

**問 >>>** 歴代市長が必要性を認識しながら実現に至らなかった(仮称)成田市男女共同参画センターだが、現行5か年計画では平成25年度に設置・運営となっている。予算要求に向け構想を固める時期だと思うが進捗状況及び設置場所は。また設置・運営に向け市民参加の協議機関を設置してはどうか。さらに男女共同参画社会実現にとって桎梏となっている女性への暴力やセクハラ等の問題について、センター設置を機に相談事業の拡充ができないか。

設を活用し、情報の収集・提供や研修、学習、相談の機能を有する施設で、誰でも気軽に立ち寄れる場所がよいと考えている。県内施設の視察結果を分析、研究した上で5か年計画に基づき実現できるように来年度予算に計上したい。協議機関の設置は、成田市男女共同参画計画推進懇談会に意見や助言を求めていく。相談窓口は、利用者のニーズに応じ、一層の充実を目指していきたい。

その他の質問

◆生物多様性と成田市の環境行政  
◆農業危害防止運動は脱農薬の視点で

**答 >>>** (仮称)男女共同参画センターは、単独施設ではなく既存施

### 15. 通学路の安全は

伊藤昌一 議員



**問 >>>** 文部科学省は、集団登下校が安全確保に有効としながらも、大事故を起こす可能性もあると、既に今春の事故を予見していた。ガードレールがないなど車歩道が分離されておらず、車両が走行する場所は、事故の危険が多いので、集団登下校を避けることが望ましいと指摘しているが、成田市市の今後の通学路の指定はどうか。また、小中学校の統廃合により運行されているスクールバスに、沿線に住む児童生徒が、同じ学校に通いながら乗れないのはなぜか。

保護者、教育委員会で協議していくが、成田市PTA連絡協議会に臨時で依頼しているアンケート調査を参考にし、安全な通学路の確保について学校と協議していく。スクールバスは、学校適正配置により遠距離通学になった児童生徒を対象とし、学習活動に支障をきたさないことを目的にしている。現段階では対象者以外を乗車させることは難しいが、今後検討していく。

その他の質問

◆土屋地区周辺の土地利用は  
◆医科系大学の誘致は

**答 >>>** 通学路の指定は、学校、





## 16. 成田ブランド構築事業の成果と今後の展開

佐久間一彦 議員



▲7月1日から販売が開始された成田ソラあんぱん

**問** ブランド構築事業の中で、今一番注目されているのがフィルムコミッション事業<sup>注11</sup>とご当地グルメではないか。国や地方の財政悪化の傾向から、公共投資による経済効果を発生させることが困難な昨今、より財政面で負担の少ない手法による地域振興の道が模索されている。ロケ地の誘致、特産品開発は、手段であり目的ではない。あくまでシティプロモーションの延長として位置付けられた成田ブランド構築事業の今後の展開の考え方について伺う。

**答** 成田ブランド構築とは、成田を訪れてみたい、成田に関する

ものを買ってみたい、成田に住んでみたいと、消費者の方々に思ってもらい、行動を起こしてもらえる状態だと考えている。成田のシティセールスという視点で、外部マーケットを意識しながら発信していくことが必要である。今後は、成田ブランドを構築することにより、外部の方が成田に魅力を感じ、市民は評価されることで誇りを持つという、常に魅力を発信し続ける活気あるまちにしていきたいと考えている。

### その他の質問

- ◆航空機騒音対策基本方針を受けた土地利用の基本的な考え方

<sup>注11</sup> 映画、テレビドラマ、CM等のロケーション撮影を誘致すること。

## 17. 放射線に関する副読本

會津素子 議員



▲小学生・中学生・高校生に配布された放射線副読本

**問** 副読本の本文では原発事故について一切触れられていない。また、放射線はいろいろな分野で利用されていることが強調されているが、人工放射線は放射線管理区域の中で厳しく管理されていることは書かれていない。この内容には問題があることが指摘され、各地で副読本の撤回を求める運動が起きている。副読本の内容を十分だと認識しているのか。また、今後も同じ内容の副読本が発行される際は、配布を中止すべきと考えるが成田市の見解は。

**答** 副読本の作成のねらいや内容を総合的に見て、放射線や放射

性物質の基本的な性質を学ぶ上では妥当であると認識している。教師用の解説編では、児童生徒に対して学習のポイントや指導上の留意点が整理されており、その中では放射線による人体への影響など、便益だけでなく危険性についても触れられたものとなっている。したがって、文部科学省に対し配布の中止や訂正を求める必要はないものと考えている。

### その他の質問

- ◆新規就農者に準備金や空き家情報の提供等の支援を
- ◆動物の事故死を防ぐために、道路標識等で注意喚起を

## 18. 学校の耐震対策

一山貴志 議員



**問** 全国では、児童生徒の安全を確保するために、小中学校の耐震化が進められている。東日本大震災では、多くの学校施設で天井材や内壁、照明器具、窓ガラスなどの非構造部材の崩落事故が発生した。成田市では、平成23年度に市内すべての小中学校校舎、体育館の耐震化が完了しているが、小規模の被害があったと聞いている。市内小中学校の非構造部材の耐震化を今後どう考えているのか。また、教室内の備品についても耐震化が必要ではないか。

**答** 東日本大震災で、成田市においても小規模だが壁の亀裂や天

井材のずれなどが発生したため、速やかに専門機関に依頼し、すべての学校の点検を実施するとともに、復旧と補強工事を行った。今後も定期的な点検とあわせて老朽化の激しい施設の改修工事を行っていく。教室内の備品は、転倒の危険があるものは金具などで固定し、落下の危険があるものは、できるだけ安全な場所に設置するよう取り組んでいる。今後も危険箇所の発見やその対応に努めていく。

### その他の質問

- ◆通学路の安全対策
- ◆公津の杜駅周辺環境整備

## 全国市議会議長会より表彰状・感謝状

永年にわたり、地方自治の発展と市政の進展に尽力された功績により、全国市議会議長会より海保貞夫議員、村嶋照等議員が表彰されました。また、宇都宮高明議長に、全国市議会議長会理事としての功績に対し、感謝状が贈られました。



海保貞夫 議員  
《議員在職25年》



村嶋照等 議員  
《議員在職13年》



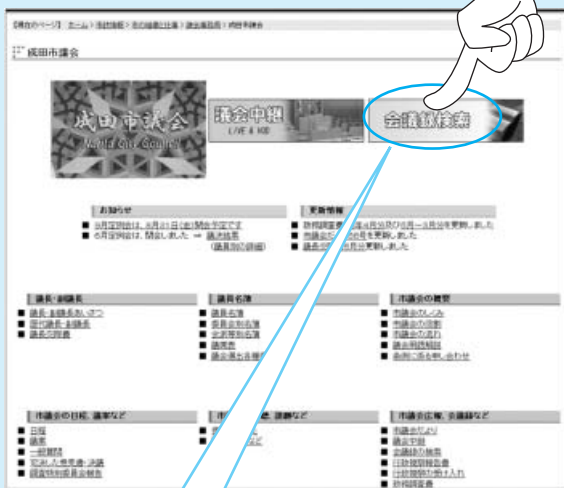
宇都宮高明 議長



## インターネットで会議録を閲覧できます

市議会の会議録が、インターネットの検索システムを使って、簡単に検索・閲覧できます。今までの一般質問など本会議の内容に加え、各委員会の内容も公開しています。キーワードや発言者、年度などで検索できますので、ぜひご利用ください。

### ▼成田市議会のトップページ



クリック  
会議録検索

議会中継



## 9月定例会は、8月31日(金)開会予定です

「成田市議会だより」についてのお問い合わせは、市議会事務局へ。

〒286-8585 成田市花崎町760  
TEL 0476(20)1570(直通)  
FAX 0476(24)0336

成田市議会

検索

## コーヒータイム



昨年から、塩麴が体に良い、いやししょう油麴のほうが栄養価が高いと、「麴」が毎日のようにマスコミに登場しています。麴自身、日本中に注目され戸惑っているのではないかと思います。

発酵食品が見直される以前は麴の存在すら知らない人が多かったと思います。日本食に無くてはならない物、味噌・しょう油・このどれもが発酵の過程で麴の出す、2種類の酵素がなくては作り出す事が出来ません。大豆のタンパク質をプロテアーゼがアミノ酸に、米のデンプン質をアミラーゼが糖に分解し、味噌・しょう油をおいしくします。日本酒、焼酎も必ず麴を使います。発酵食品が注目されているのは、原材料に無い新しい有効成分や旨みが微生物の働きによって生成されるからです。

市議会も新しい発想や、市内資源を有効に使うことで、注目される「成田」になると思います。

市議会だより編集委員 伊藤 昌一

「成田市議会だより」は、グリーン購入法に基づく基本方針の判断基準を満たす紙を使用しています。

リサイクル適正 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

PRINTED WITH  
SOYINK™  
環境に優しい大豆インクを使用しています。